

『鳥のけいさつかん』

小嶋直樹 水俣第一小学校3年

ぼくは、メジロ。

今日から、鳥のけいさつかんになった。

さいしよは、とぶ練習をした。犯人をおいかけるためだ。

いっぱい練習をした。

そして、5日後、けいさつかんのリーダーに、

「ふくろうスーパーにとうとうが入った。そして、魚をぬすんでどこかにいった。きみたちは、りっぱなけいさつかんだ。犯人をつかまえてくれ」と、たのまれた。

ぼくは心で「やった」と思った。

そして、スズメといっしょにとんで、犯人をつかまえに行った。

犯人は、ハヤブサだった。はやいのでつかまえにくい。だけどがんばっておいかけた。

そして、ついせき30分後、やっとおいついてきた。後もうすこしだ。

ぼくは、がんばっておいかけた。スズメもおいかけた。

そしてついに、つかまえた。

そして、太いかなあみでできた家くらいの大きさのろうやに入れた。

リーダーの鳥タカに、

「すごいな」

とほめられた。

ぼくたちは、うれしくなった。

スズメは、ハヤブサに

「なんで、とうとうをする」

と聞いた。

するとハヤブサは、

「えさがとれなくなったからです」

と、こたえた。

ぼくはこう言った。

「そうゆうことなら、ぼくたちにいいなさい。そしたら魚を分けてあげるから」

ハヤブサは、

「こういうこととしてごめんなさい」

と言った。

さいばんでハヤブサは、ちようえき5年がいいわたされた。

『鳥のけいさつかん』

小嶋直樹 水俣第一小学校3年

そして、スズメとぼくは、つかまったハヤブサに、タイ、サンマなど食べさせた。

そして、どうやってとればいいのかコツも教えた。

そして、スズメとぼくは友だちになった。

そして、二人でいっぱいの人をつかまえたり、なぜやったか理由を聞いたり、いっしょにごはんを食べたり、いっぱい練習をやったりした。

リーダーはぼくたちのことを

「二人はすごい」と思っていた。

ほかのけいさつかんたちは、二人にあこがれていた。

理由は、二人は、たのまれたしごとをぜんぶやっているからです。

スズメとぼくは、みんなにやさしいので、みんなが、

「やさしいね」

「親切だからかっこいい」

などいってくれるので、スズメとぼくは、うれしくて楽しかった。

5年後、ぼくたちは、練習などががんばっていた。

さいしょにつかまえたハヤブサがきてくれた。

「前は、コツなどを教えてくれて本当にありがとうございました。お礼に、ぼくがつかまえた魚を20匹きわけてあげるよ」

ぼくとスズメは、うれしくもらった。

そして、いっしょに、スズメの家に行って食べた。とくに、タコとイカとタイとマグロのおさしみがおいしかった。スズメがアジのしおやきをくれた。そのアジのしおやきをもってかえって、夜ごはんにして、食べた。それがほっぺたがおちるくらいおいしかった。

そして明日も、がんばろうと思った。

次の日リーダーが、

「きょうから、きみがリーダーだ」

と言ってくれた。

だけどぼくは、

「スズメもリーダーにしてください」

と言った。

そして、リーダーは、「いいよ」と言ってくれた。

うれしかった。